

都市再生整備計画 事後評価シート(原案)  
青森市中心市街地地区

平成28年10月

青森県青森市

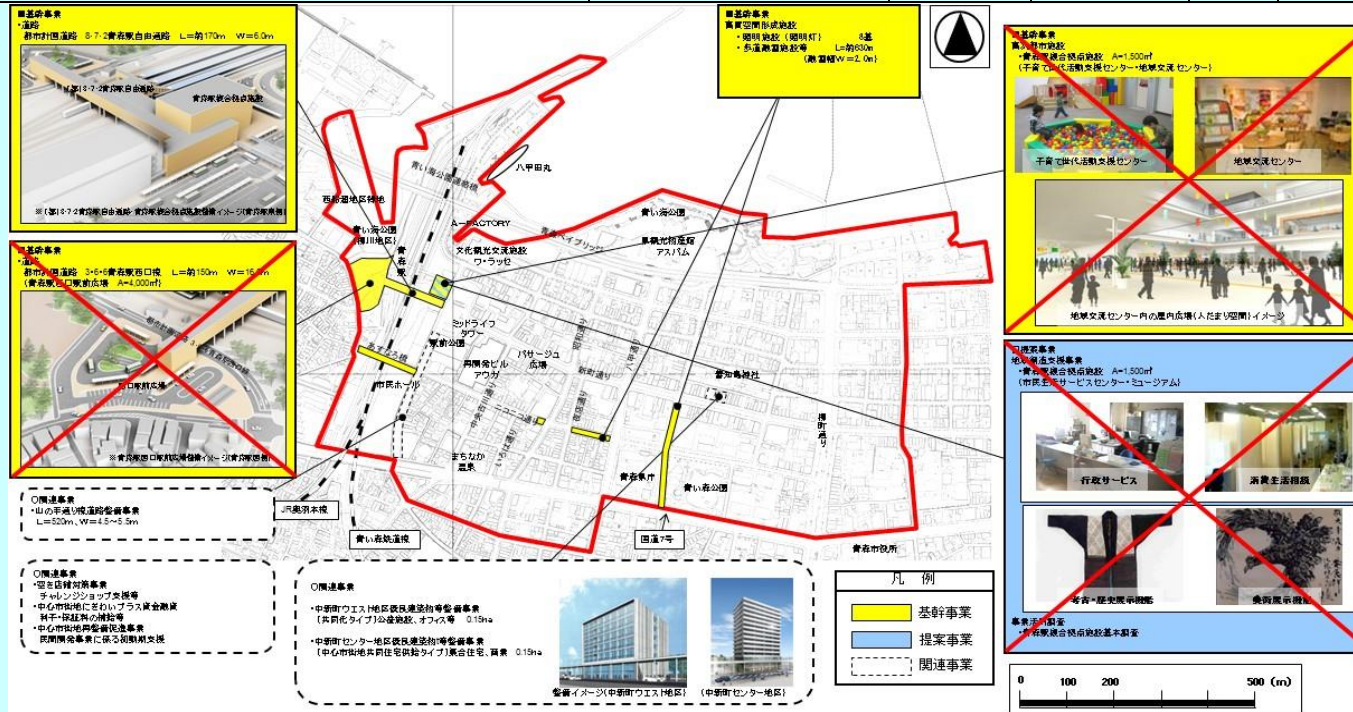
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	青森県		市町村名	青森市		地区名	青森市中心市街地地区			面積	116.7ha		
交付期間	平成24年度～28年度		事後評価実施時期	平成28年度		交付対象事業費	386百万円	国費率	0.45				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	道路(都)8・7・2青森駅自由通路(基礎調査設計のみ)									
			提案事業	—									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	—	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
			提案事業	—	—			—					
	新たに追加した事業		基幹事業	高質空間形成施設(歩道融雪、照明施設)	商店街や官公庁施設が立地する市道古川長島通り線等の歩道に融雪施設等を整備することにより、冬期歩行者ネットワークの充実を図り、一年を通じて安全・安心・快適なまち歩きしやすい環境を創出する。			指標2「中心市街地のまちづくりへの満足度」に関係するが、数値目標は据え置く。					
			提案事業	—	—			—					
交付期間の変更		当初	平成24年度～28年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
		変更	平成 年度～ 年度										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	中心市街地の歩行者通行量	人/日	74,048	H22	77,554	H28	59,344	60,982	×	あり なし ●	事業実施できなかったことから効果発現に至っていない	実施予定なし
	指標2	中心市街地のまちづくりへの満足度	%	11.0	H23	15.5	H28	10.2	6.1	×	あり なし ●	事業実施できなかったことから効果発現に至っていない	実施予定なし
	指標3										あり なし		
	指標4										あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	—												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	調査結果に基づく指標の達成状況		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● — — 関係機関との協議を進め、円滑かつ迅速な事業推進を図ることが必要。					
	住民参加プロセス	—		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				— — —					
	持続的なまちづくり体制の構築	—		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				— — —					

様式2-2 地区の概要

中心市街地地区(青森県青森市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標 青森駅を中心としたウォークアブルタウンの創出 目標1 多くの人が訪れたい魅力ある街の形成～街の楽しみづくり 目標2 多様な人々を迎え入れる来街利便性の高い街の形成～交流街づくり	中心市街地の歩行者通行量	単位: 人/日	74,048 H22	77,554 H28	60,982 H27
	中心市街地のまちづくりへの満足度	単位: %	11 H23	15.5 H28	6.1 H28
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H



まちの課題の変化 本計画の核的事業である自由通路整備等の事業を実施できなかったことから、根本的な課題改善はされていないが、照明施設や歩道融雪施設が整備されたこと及び、関連事業が順調に事業実施されたこともあり、一定程度の効果はあるものと考えている。

今後のまちづくりの方策 (改善策を含む) 本計画期間内において実施されなかった、自由通路整備及び西口広場整備を行うことで課題の改善を図る。

# 都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

## (6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

## (7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●	—	—	—
B. 目標を定量化する指標		●	—	—	—
C. 目標値		●	—	—	—
D. その他( )		●	—	—	—

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	(都)8・7・2青森駅自由通路	6,700	L=200m	4	L=200m	関係機関との事業実施に係る協議に不測の日数を要し、計画期間での事業実施(効果発現)困難となったため、事業費の減額を行ったもの。	指標1「中心市街地の歩行者通行量」に関係するが、数値目標は据え置く。 指標2「中心市街地のまちづくりへの満足度」に関係するが、数値目標は据え置く。	—	—
道路	(都)3・6・6青森駅西口線	1,300	L=150m 青森駅西口駅前広場含むA=4,000㎡	0	L=150m 青森駅西口駅前広場含むA=4,000㎡	関係機関との事業実施に係る協議に不測の日数を要し、計画期間での事業実施(効果発現)困難となったため、事業費の減額を行ったもの。	指標2「中心市街地のまちづくりへの満足度」に関係するが、数値目標は据え置く。	—	—
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設									
高質空間形成施設	—	—	—	382	照明施設 8機 歩道融雪施設等 L=約630m(融雪幅 W=2.0m)	商店街や官公庁施設が立地する歩道に融雪施設等を整備することにより、冬期歩行者ネットワークの充実を図る。	指標2「中心市街地のまちづくりへの満足度」に関係するが、数値目標は据え置く。	●	
高次都市施設	—	950	青森駅複合拠点施設(地域交流センター)A=約750㎡ 青森駅複合拠点施設(子育て世代活動支援センター)A=約750㎡	0	青森駅複合拠点施設(地域交流センター)A=約750㎡ 青森駅複合拠点施設(子育て世代活動支援センター)A=約750㎡	関係機関との事業実施に係る協議に不測の日数を要し、計画期間での事業実施(効果発現)困難となったため、事業費の減額を行ったもの。	指標1「中心市街地の歩行者通行量」に関係するが、数値目標は据え置く。	—	—
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	青森駅複合拠点施設整備事業 (市民サービスセンター・ミュージアム)	950	青森駅複合拠点施設 (市民サービスセンター・ミュージアム)	0	青森駅複合拠点施設 (市民サービスセンター・ミュージアム)	関係機関との事業実施に係る協議に不測の日数を要し、計画期間での事業実施(効果発現)困難となったため、事業費の減額を行ったもの。	指標1「中心市街地の歩行者通行量」に関係するが、数値目標は据え置く。	—	—
	青森駅複合拠点施設基本調査	12	青森駅複合拠点施設基本調査	0	青森駅複合拠点施設基本調査	関係機関との事業実施に係る協議に不測の日数を要し、計画期間での事業実施(効果発現)困難となったため、事業費の減額を行ったもの。	指標1「中心市街地の歩行者通行量」に関係するが、数値目標は据え置く。	—	—
まちづくり 活動推進事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業									
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考	
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画			
山の手通り線道路整備事業		中心市街地地区	55	48	H23～H24	H23～H24	計画通り事業完了済み		
中新町ウエスト地区優良建築物等整備事業		中心市街地地区	710	709	H23～H24	H23～H24	計画通り事業完了済み		
中新町センター地区優良建築物等整備事業		中心市街地地区	439	437	H23～H25	H23～H25	計画通り事業完了済み		
商店街空き店舗対策事業		中心市街地地区	60	27	H24～H27	H24～H27	計画通り事業完了済み	空き店舗に出店する中小企業者等に対して、家賃及び店舗改装費の一部を補助	
中心市街地にぎわいプラス資金融資		中心市街地地区	96	65	H24～H27	H24～H27	計画通り事業完了済み	店舗の新増設等への融資、利子及び保証料補給	
中心市街地再整備促進事業		中心市街地地区	6	7	H24～H27	H24～H27	計画通り事業完了済み	都市機能を再整備しようとする団体に対し、その初動期に係る活動経費を支援	



添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無	
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度	目標 年度	目標 年度	モニタリング	事後評価	数値	モニタリング	事後評価	あり	なし
指標1	中心市街地の歩行者通行量	人/日 毎年6月の平日 中心市街地20地点 青森商工会議所歩行者通行量調査	—	—	74,048	H22	77,554	H28	モニタリング	H25	59,344	モニタリング	×		●
									事後評価	確定見込み ●	60,982	事後評価	×		
指標2	中心市街地のまちづくりへの満足度	% 毎年5~6月 第1回市民意識調査	10.9	H22	11.0	H23	15.5	H28	モニタリング	H26	10.2	モニタリング	×		●
									事後評価	確定見込み ●	6.1	事後評価	×		
指標3									モニタリング			モニタリング			
指標4									モニタリング			モニタリング			
									事後評価	確定見込み		事後評価			
指標5									モニタリング			モニタリング			
									事後評価	確定見込み		事後評価			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	関係者との協議に不測の日数を要したことから事業を実施できなかったため、目標達成に至らなかった。	—
指標2	関係者との協議に不測の日数を要したことから事業を実施できなかったため、目標達成に至らなかった。	—
指標3		
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)		本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度				
その他の数値指標1							モニタリング			
							事後評価	確定見込み		
その他の数値指標2							モニタリング			
							事後評価	確定見込み		
その他の数値指標3							モニタリング			
							事後評価	確定見込み		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

歩道融雪施設等(基幹事業:高質空間形成施設)を整備することで、積雪による歩行障害の解消や凍結による転倒のリスクが軽減する等、冬期間における歩行者空間の安全性・快適性・回遊性が向上した。このことにより、冬期積雪時における本市中心市街地の歩行者ネットワークの充実が図られ、一年を通じて、まち歩きしやすい環境が創出された。

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
調査結果に基づく指標の達成状況	予定どおり実施した ● 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	【実施頻度】平成26年度1回 【実施時期】10月 【実施結果】高質空間形成事業以外は、関係機関との協議に時間を要し、事業着手間もない、または、未着手である。	関係機関との協議を進め、円滑かつ迅速な事業推進を図ることが必要。
—	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	—	—

### 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
—	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	—	—
—	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	—	—

### 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
—	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	—	—	—
—	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	—	—	—

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
—	—	—	—

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類別		指標○		指標○		指標○		指標○	
指標名									
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業									
提案事業									
関連事業									

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	—	—	—	—
-------	---	---	---	---

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1			指標2			指標○			指標○						
指標名		中心市街地の歩行者通行量			中心市街地のまちづくりへの満足度												
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類				
基幹事業	(都)8・7・2青森駅自由通路	××	関連事業については順調に事業実施したものの、基幹事業、提案事業の殆どが事業実施できなかったことから、効果の発現に至っていない。	Ⅲ	××	関連事業については順調に事業実施したものの、基幹事業、提案事業の殆どが事業実施できなかったことから、効果の発現に至っていない。	Ⅲ										
	(都)3・6・6青森駅西口線				××												
	照明施設・歩道融雪施設等				△												
	青森駅複合拠点施設(地域交流センター)	××															
	青森駅複合拠点施設(子育て世代活動支援センター)	××															
提案事業	青森駅複合拠点施設(市民生活サービスセンター・ミュージアム)	××															
	青森駅複合拠点施設基本調査	××															
関連事業	山の手通り線道路整備事業								△								
	中新町ウエスト地区優良建築物等整備事業	△															
	中新町センター地区優良建築物等整備事業	△															
	空き店舗対象事業	△															
	中心市街地にぎわいプラス資金融資	△															
	中心市街地再整備促進事業	△															

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	<p>本計画の核的事業である、青森駅自由通路及び青森駅西口線については平成27年度より街路事業により実施している。また、青森駅複合拠点施設については、事業実施に向け今後も引き続き検討する。</p>	<p>本計画の核的事業である、青森駅自由通路及び青森駅西口線については平成27年度より街路事業により実施している。また、青森駅複合拠点施設については、事業実施に向け今後も引き続き検討する。</p>	
------------------	--	--	--

#### (4) 今後のまちづくり方策の作成

##### 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
青森駅を中心としたまちづくり有識者会議	学識経験者、関係する団体等	第1回 平成27年 1月28日 第2回 平成27年11月11日 第3回 平成28年 3月30日	都市政策課(都市再生整備計画担当課)

##### 添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
新たな賑わいの創出	本計画の核的事业である自由通路整備等の事業を実施できていないので、根本的な課題改善はされていないが、照明施設や歩道融雪施設が整備されたこと及び、関連事業が順調に事業実施されたこともあり、一定程度の効果はあるものと考えている。	新たな賑わいの創出	—
回遊性の向上	本計画の核的事业である自由通路整備等の事業を実施できていないので、根本的な課題改善はされていないが、照明施設や歩道融雪施設が整備されたこと及び、関連事業が順調に事業実施されたこともあり、一定程度の効果はあるものと考えている。	回遊性の向上	
多様なアクセス性への対応	事業実施できなかったことから、課題の改善はされなかった。	多様なアクセス性への対応	
歩いて暮らせる街ぐらしの推進	本計画の核的事业である自由通路整備等の事業を実施できていないので、根本的な課題改善はされていないが、照明施設や歩道融雪施設が整備されたこと及び、関連事業が順調に事業実施されたこともあり、一定程度の効果はあるものと考えている。	歩いて暮らせる街ぐらしの推進	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業

B欄 改善策  ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	新たな賑わいの創出	本計画期間内において実施されなかった、自由通路整備及び西口広場整備を行うことで課題の改善を図る。	社会資本整備総合交付金事業(街路事業)
	回遊性の向上	〃	〃
	多様なアクセス性への対応	〃	〃
	歩いて暮らせる街ぐらしの推進	〃	〃

フォローアップ又は次期計画等  
において実施する改善策  
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

● 交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
● 事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
● 数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
● 数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
● 残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

なし

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。  
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画			
			年度	年度	年度	年度						予定時期	計測方法	その他特記事項	
指標1	中心市街地の歩行者通行量	人/日	74,048	H22	77,554	H28	確定	●	60,982	×	あり	●	—	—	—
							見込み				なし				
指標2	中心市街地のまちづくりへの満足度	%	11	H23	15.5	H28	確定	●	6.1	×	あり	●	—	—	—
							見込み				なし				
指標3				H		H	確定				あり				
				見込み		なし									
指標4				H		H	確定				あり				
				見込み		なし									
指標5				H		H	確定				あり				
				見込み		なし									
その他の数値指標1				H		H	確定								
				見込み											
その他の数値指標2				H		H	確定								
				見込み											
その他の数値指標3				H		H	確定								
				見込み											



### 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	—	—
	うまく いかなかった点	—	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	—	—
	うまく いかなかった点	—	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	—	—
	うまく いかなかった点	—	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	—	—
	うまく いかなかった点	—	
その他	うまくいった点	今回の計画期間内での事業実施はできなかったが、昨年度より他の事業に移行し、継続的なまちづくりを推進できたことから、鉄道事業者との事業については、粘り強く協議を行い事業を進めることが重要である。	—
	うまく いかなかった点	—	

### 添付様式6—参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

現在検討中である都市機能の整備については、都市再生整備計画の活用も視野に検討を行っている。

## (5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	平成28年9月12日～9月30日	平成28年9月16日～9月30日	担当課への意見の持参、郵送、FAX、電子メール	都市整備部 都市政策課
広報掲載・回覧・個別配布	広報に市のホームページで原案を公表している旨を掲載	平成28年9月15日発行 広報あおもり9月15日号	平成28年9月16日～9月30日		
説明会・ワークショップ					
その他	閲覧(都市政策課)	平成28年9月16日～9月30日	平成28年9月16日～9月30日		

住民の意見	なし				
-------	----	--	--	--	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員					
その他の委員					

審議事項	委員会の意見	
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	
	成果の評価	
	実施過程の評価	
	効果発現要因の整理	
	事後評価原案の公表の妥当性	
	その他	
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	
	フォローアップ	
	その他	
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	
その他		